事　業　概　要

令和３年度版

東 京 都 立 図 書 館

令和３年７月

事業概要　令和３年度版

目　　次

Ⅰ　組織概要
１　東京都立図書館運営方針 …… 1
２　東京都立図書館運営組織図 …… 3
３　東京都立図書館事務分掌 …… 4
Ⅱ　主要事業
１　令和３年度　主要事業 …… 5
２　令和２年度　主要事業報告 …… 6
Ⅲ　予算・決算
１　令和３年度　予算 …… 9
２　令和２年度　決算 …… 10
Ⅳ　統計資料（令和３年３月 31 日現在）
１　所蔵状況 …… 11
２　オンラインデータベース・電子書籍の導入状況 …… 12
３　図書館資料収集・整理統計 …… 13
４　利用統計資料（令和２年度実績） …… 14
(1)　利用状況 …… 14
(2)　登録利用者数 …… 15
(3)　レファレンス件数 …… 15
(4)　書庫内資料利用冊数 …… 16
(5)　情報リテラシー支援件数 …… 16
(6)　政策立案支援サービス件数 …… 16
(7)　特別文庫室利用状況 …… 17
(8)　音声・映像資料利用状況 …… 17
(9)　視覚障害者等サービス状況 …… 17
(10)　協力貸出状況 …… 17
(11)　多摩図書館　16 ミリフィルム等の貸出数 …… 18
(12)　ホームページ利用状況 …… 18
(13)　多摩図書館　セミナールーム使用状況 …… 18
Ⅴ　事業実績（令和２年度）
１　展示等の事業（展示・講演会等） …… 19
２　区市町村立図書館職員等への研修等 …… 21
３　学校教育活動への支援事業 …… 22
４　職員研修等 …… 24
５　刊行物及びホームページでの情報提供 …… 25
６　都立図書館　新型コロナウイルス感染症対策の経緯　令和２年２月～令和３年６月 …… 26
Ⅵ　所蔵コレクションの紹介
１　中央図書館 …… 28
(1)　特別文庫室資料　(2)　東京資料　(3)　海外資料
２　多摩図書館 …… 30
(1)　山本有三文庫　(2)　雑誌創刊号コレクション　(3)　児童・青少年資料
Ⅶ　東京都立図書館協議会 …… 31
Ⅷ　資料
１　東京都立図書館館則 …… 34
２　東京都立図書館沿革 …… 37
３　図書館関係団体・組織一覧 …… 41
４　東京都立図書館ネットワーク概念図 …… 42
５　東京都立図書館シンボルマーク …… 43
６　ホームページ及びソーシャルメディア …… 43
７　フロア概要 …… 44
(1)　中央図書館 …… 44
(2)　多摩図書館 …… 47
８　案内図 …… 49

Ⅰ　組織概要

１　東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月　1 日
一部改正　　平成 18 年 5 月 22 日
一部改正　　平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する２１世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

1　都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。

2　都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。

3　都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。

4　都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。

5　都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。

6　都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

1　事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

2　運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
3　事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
4　都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
5　図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

（情報サービスに関すること）
6　紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
7　電子図書館の実現に取り組むとともに､情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
8　図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
9　視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
10　子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
11　都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
12　社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

（資料管理に関すること）
13　図書館資料は、原則として１資料１点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
14　書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
15　一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

（協力支援に関すること）
16　都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
17　東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
18　図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附　則
（施行期日）
1　この方針は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
（東京都立中央図書館運営方針の廃止）
2　「東京都立中央図書館運営方針（47 日図発第 234 号)」は廃止する。
（東京都立多摩図書館運営方針の廃止）
3　「東京都立多摩図書館運営方針（61 教社計多第 111 号)」は廃止する。

附　則
この方針は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

２　東京都立図書館運営組織図

（令和３年４月１日現在）

- 中央図書館長
  - 東京都立図書館協議会
  - 管理部　職員定数38名（内司書17名）
    - 総務課
      - 庶務関連業務
        - 庶務担当
      - 経理関連業務
        - 経理担当
        - 契約担当
    - 企画経営課
      - 企画経営関連業務
        - 企画経営総括担当
        - 企画経営担当
        - 図書館情報システム担当
      - 協力支援関連業務
        - 協力支援担当
    - 多摩図書館
      - 管理関連業務
        - 管理担当
        - 協力貸出担当
      - 情報サービス関連業務
        - 情報サービス担当
        - 視覚障害者サービス担当
        - 新聞雑誌担当
      - 児童青少年資料関連業務
        - 児童青少年資料担当
  - サービス部　職員定数60名（内司書54名）
    - 資料管理課
      - 収書関連業務
        - 収書担当
      - 資料整備関連業務
        - 資料整備担当
      - 寄贈資料関連業務
        - 寄贈資料担当
      - 整理関連業務
        - 整理担当
      - 目録管理関連業務
        - 目録管理担当
      - 分類主題関連業務
        - 分類主題担当
      - 海外資料関連業務
        - 海外資料担当
      - 海外資料整理関連業務
        - 海外資料整理担当
      - 新聞雑誌収集関連業務
        - 新聞雑誌収集担当
    - 情報ｻｰﾋﾞｽ課
      - サービス計画関連業務
        - サービス計画担当
        - サービス推進担当
      - 人文科学関連業務
        - 人文科学担当
      - 社会・自然科学関連業務
        - 社会・自然科学担当
        - 重点情報推進担当
      - 都市・東京情報関連業務
        - 都市・東京情報担当
        - 政策支援担当
      - 特別文庫関連業務
        - 特別文庫担当
        - 資料保存担当
      - 視覚障害者サービス関連業務
        - 視覚障害者サービス担当

合計	
職員定数	98名
（内司書	71名）

３　東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総　務　課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること
		都立図書館の館報等の編集及び発行
		図書館職員等の研修
		海外の図書館等との交流に関すること
	多摩図書館	多摩図書館の庶務
		多摩図書館の公文書の管理
		多摩図書館の広報・統計・調査
		多摩図書館のサービス計画に関すること
		多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存
		多摩図書館の図書館資料の利用に関すること
		雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援
		多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること
		多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること
		東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附帯設備の貸出しに関すること
		都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し
		多摩図書館の利用案内に関すること
		多摩図書館の施設及び設備の維持管理
		多摩図書館の館内の取締り
サービス部	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）
	情報ｻｰﾋﾞｽ課	都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

東京都立図書館処務規則より抜粋

Ⅱ　主要事業

１　令和３年度　主要事業

「都立図書館実行プラン 2021-2023　AI 時代の都立図書館へのファーストステップ」（令和３年２月）に基づき、以下の３本の事項を柱として定め、各施策を展開する。３か年計画の初年度である令和３年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 首都東京の図書館として、情報流通をめぐる社会環境の変化に対応し、「東京」情報の集積・発信を推進する。

ア　社会環境の変化を踏まえた「東京」情報の集積・発信
イ　東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用した情報発信
ウ　中央図書館 50 周年記念事業の取組

【具体的な取組】

TOKYO アーカイブ画像のオープンデータ化と「ジャパンサーチ」との連携、新しい時代の東京をテーマにした講座・セミナーの充実、オリンピック・パラリンピック関係資料の収集・活用、オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用したメモリアルコンテンツの整備　等

(2) ICT を積極的に活用して、東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア　ICT を活用したレファレンス機能の強化
イ　東京マガジンバンクカレッジの取組による利用者のアクティブな学びの支援
ウ　外国語資料を活用したサービス・支援の充実
エ　ICT を活用した学校への支援拡充
オ　区市町村立図書館、大学図書館とのネットワーク強化

【具体的な取組】

チャットボット及びチャットによるレファレンスサービスに向けた検討、新たなチャネルを活用した行政活動への支援拡充、東京マガジンバンクカレッジ事業の再構築、外国人利用者に向けたサービスの推進、新たなチャネルを活用した学校教育への支援拡充、特別支援学校図書館整備支援の充実、区市町村立図書館との情報共有の推進、大学図書館への資料貸出の実施　等

(3) 図書館機能の DX 化に着手し、新たな時代の東京における情報環境を整備する。

ア　都立図書館サービスの DX 化に向けた基盤整備
イ　館内施設の整備・活用促進
ウ　新たな時代を見据えた人材育成の展開

【具体的な取組】

ディスカバリーサービスの導入、電子書架機能の整備、動画による情報発信やオンライン研修のための基盤整備、電子書籍サービスの拡充、計画的な施設整備による利用環境の向上、施設貸出を通じた利用促進、職員育成基本方針の改定・新方針に基づく実施　等

≪共通の施策≫　積極的な情報発信を通じた都立図書館の PR

【具体的な取組】

新図書館を見据えた連続性のあるイメージ戦略、広報活用の戦略的な展開、外国人をターゲットにした広報の充実　等

２　令和２年度　主要事業報告

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連情報をはじめとした「東京」情報を国内外に広く提供・発信する。

ア　東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成、東京における様々な活動記録の収集・発信

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による東京 2020 大会の延期に伴い、中央図書館では当初予定していた大規模企画展示・講演会・トークプログラムを令和３年度に見送った。緊急事態宣言解除後の６月以降、１階フロアに設置した３展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）では、「公式アートポスター展示」等のテーマ展示を行った。また、１月に企画展示室で東京 2020 大会に向けた企画展示「1964 to 2020 クイズで巡る東京のまち」を準備したが、１月７日からの緊急事態宣言再発令により来館サービスが休止となったため、都立図書館ホームページ上で公開することとなった。

資料収集の面では、オリンピック・パラリンピック関連図書や日本・東京を紹介する外国語資料等を積極的に収集した。また、大会関連資産のアーカイブについて、東京都オリンピック・パラリンピック準備局や大会組織委員会と調整を行った。

さらに、区市町村立図書館とも連携し、昨年度に引続き４月から 12 月まで「東京でおもてなし 2020 ～56 年ぶりの夢～ 」を統一タイトルとしたオリンピック・パラリンピックに関する一斉展示を行った。都立図書館ホームページの特設ページに自治体別に集約した取組情報を発信した。各自治体においても、共通ロゴの館内掲示や、ホームページ掲載など、連携しての PR 活動を行った。

イ　世界に開かれた都市、首都東京の図書館としての「東京」情報の集積・提供・発信

中央図書館では、江戸・東京関係資料のデジタル化を計画的に進めるとともに、インターネットを通じて「TOKYO アーカイブ」、「江戸・東京デジタルミュージアム」として国内外に情報発信を行った。また、６月に「東京の教育情報コーナー」を開設した。インターネットで公開した資料の累計は、特別文庫室の貴重資料は 52,000 点、東京関係資料については 6,000 点を超えた。

多摩図書館では、過去の東京の姿を伝える貴重な映像記録の修復と長期的活用を図るため、16 ミリ映画フィルムの媒体変換計画を策定した。

(2) 東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア　レファレンス機能の強化

重点的情報サービス（ビジネス情報、健康・医療情報、法律情報）において、創業に関する機関や病院等、関係機関と連携し、得られた情報を活かしてレファレンスサービスへの活用を図った。また、より多くの都民に都立図書館のレファレンスサービスを理解いただくため、ホームページや SNS 等での情報発信を行った。さらに、AI チャットボット実証実験を 12 月に行い、最新技術を活用したレファレンスサービス提供の検討の契機とした。

イ　利用者のアクティブな学びの支援

中央図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間を通じて来館利用を促進する取組ができなかった。

多摩図書館では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとり、東京マガジンバンクカレッジ雑誌総合セクション及び多摩セクションのイベントを開催した。雑誌総合セクションでは、東京マガジンバンクカレッジの団体パートナーと多摩図書館との協働事業として、雑誌制作や出版・ジャーナリズム関係の研究に携わる大学生による成果発表会を、オンラインにより実施した。多摩セクションでは、個人パートナーを講師とした連続ワークショップ

を、通常時の会場定員の約６分の１の参加人数として、対面型で実施した。両事業については、都立図書館ホームページのほか、パートナー通信で報告した。

ウ　外国語資料を活用したサービス・支援の充実

中央図書館では、日本語学習資料の利用促進のため、３階人文科学系閲覧室に「日本語学習コーナー」を開設した。また、言語別の日本語学習資料リストを作成し、23 区の国際交流団体や日本語学校に配布した。

多摩図書館では、外国人対応をスムーズにできるようにするため、各窓口に翻訳アプリや指さしマニュアルを常時設置している。

また、国分寺市をはじめとして、府中市、武蔵野市、三鷹市、小平市の国際交流団体（７団体）を訪問し、所蔵資料の説明及び利用案内を配布し、PR 活動を実施した。

エ　学校への支援

新型コロナ感染症の拡大により、校外学習等の受入れが大幅に減り、利用校へのヒアリングや連絡会等での PR は未実施に終わった。オンラインで学校と図書館を繋ぎ、教室から都立図書館の使い方やレポートの書き方を学ぶという、新しい取組を実施した。

登校、外出が制限された子供たちの読書と学びを支援するため、令和２年３月にホームページ内に新設した「今こそできる！こんなこと－都立図書館学習・読書応援ポータル」に、ネットで読めるおすすめ作品を紹介するコンテンツや「子どもたちにおすすめしたいパンの本」という、パンにまつわる本の紹介動画３本、「家でもできる！自由研究」という、自由研究のアイディアカード 10 点を新たに追加した。

また、選書の参考となるよう、昨年度に引き続き、「書評情報通信」を発信した。多摩図書館では、特別支援学校を対象に選書等相談会を行い、学校図書館の整備や選書支援を行った。

オ　都政への支援拡充

都政における施策推進を図書館資料や情報の面から支援することを目的に、TAIMS 端末を利用し同サービスの案内を積極的に行った。また、都が設置する専門図書館等との連携の活性化を図った。

(3)「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、より良い利用環境を構築する。

ア　館内施設の有効活用

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントによる貸出の実績はなかったが、９月から 11 月にかけて、講座収録のためのオンライン配信を行った。また、12 月に総務局へ貸し出した。

イ　学びの空間、施設、設備の充実

劣化度診断調査の結果を踏まえ、中央図書館の快適な利用環境及び適切な資料保存の環境を維持するため、令和元年度から３か年計画で空調設備改修工事及び外壁改修工事を実施している。また、利用者用トイレについて、計画的に利用頻度に応じた改修工事を行っている。

ウ　多様な情報源へのアクセス環境整備

都立図書館が導入する電子書籍コンテンツについて、希望する都内区市町村立図書館での館内閲覧を開始した。

エ　利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

都立図書館の情報サービスを支え、直面する課題の解決に取り組む専門職員等の育成を目

指し、OJT や館内研修、派遣研修等に取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、OJT や館内研修は中止又は縮小して実施することになった。また、派遣研修は、年度当初は主催団体等の中止が相次ぎ受講できなかったが、後半はオンライン形式で実施する研修は受講し、専門職員等の育成に努めた。

また、社会のデジタル化の進展に対応して「都立図書館デジタル化推進作業部会」を設置し、専門職員等のデジタルスキル向上に向けた研修の在り方について検討を行い、部会報告をまとめた。

(4) 広報活動を刷新し、積極的な情報発信や PR を行う。

ア　新たな手法による情報発信強化

都立図書館の認知度向上と利用促進のため、例年都立図書館の所在地にある区市で実施するイベント等に出展しているが、令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者側が開催を中止した。中止となったイベントは以下のとおり。

（ア）港区主催　毎年５月実施「エコライフ・フェア MINATO」
（イ）港区主催　毎年 10 月実施　「みなと区民祭り」
（ウ）国分寺市主催　毎年 11 月実施　「国分寺まつり」

７月に「都庁第一本庁舎中央部アートワーク台座」に出展し、都庁を訪れる人へ都立図書館を紹介するパネル展示を行った。また、図書館に来館せずとも楽しめる「Tokyo アーカイブ」や「江戸・東京デジタルアーカイブ」等、既設サイトの紹介を広報誌に掲載し、都立図書館の特長を PR した。

多摩図書館では、緊急事態宣言のため、４月から６月まで放送中止していたエフエム立川への出演を７月から再開し、予約来館サービスのお知らせや山本有三文庫の紹介など館内利用 PR を毎月実施した。

外国人に対する広報では、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う臨時休館等の緊急時対応について、日本語の他に英語によるホームページや SNS で情報発信した。

イ　広報活動の枠組や体制の整備

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う図書館の利用制限や変更事項について、ホームページで分かりやすく伝えるためにトップページを改修した。また、図書館の内外を撮影した写真をホームページで公開し、非営利目的であれば自由に使用できる環境を整備するとともに、営利目的で使用する場合の申請書を作成し、図書館の写真の利用を促した。

Ⅲ　予算・決算

１　令和３年度　予算

（千円）

項　目	予　算　額			内　　容
	令和３年度	令和２年度	増△減	
管理運営等	833,134 （　7,536　）	544,923 （　8,552　）	288,211 （　△ 1,016 ）	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費（図書館改修工事含む）
サービス事業	146,283 （　10,744　）	167,144 （　9,859　）	△ 20,861 （　885　）	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者等サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	382,626 （　6,390　）	393,195 （　5,770　）	△ 10,569 （　620　）	図書館資料の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 〔令和３年度購入計画〕 １　図　書 ・一般成人用図書　27,105 冊 （東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。） ・既刊書　1,116 冊 （明治以降昭和40年代までの欠本） ・洋書　3,830 冊 ・未成年者向図書（児童書）　3,500 冊 同上　（青少年）　2,450 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書　2,280 冊 ・備品図書　20 冊 合計　40,301 冊 ２　逐次刊行物 ・新聞　170 種 ・雑誌　4,044 種 ・年鑑・年報　1,900 種 ３　オンライン図書　33 種 ４　電子書籍　360 種
電算システムの運営	137,697	152,384	△ 14,687	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,630 （　1,292　）	1,692 （　1,292　）	△ 62 （　0 ）	委員数　11名 定例会　年４回
業務委託	490,928 （　169,363　）	492,058 （　162,381　）	△ 1,130 （　6,982 ）	都立図書館の資料出納及び複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	2,273	4,934	△ 2,661	・大規模企画展　年３回 ・講演会・セミナー等　年６回
計	1,994,571 （　195,325　）	1,756,330 （　187,854　）	238,241 （　7,471 ）	

（注）　・予算額中の（　　）は、給与関係費（報酬等、共済費、旅費）で内数

２　令和２年度　決算

（円）

項　　目	決　　算　　規　　模	予算額	決算額
Ⅰ　管理運営等		544,923,000 (　8,552,000　)	467,187,208 (　5,828,935　)
１　庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館 ２　その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	（建物規模） 地上5階地下2階　延　23,196.21㎡ 地上3階　延　8,982㎡		
Ⅱ　サービス事業		167,144,000 (　9,859,000　)	142,835,831 (　7,276,881　)
１　中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等ｻｰﾋﾞｽ (5) 広　　報 ２　多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等ｻｰﾋﾞｽ (5) 広　　報	開館日数　193日　　入館者数　55,190人 開館日数　193日　　入館者数　26,412人		
Ⅲ　資料収集・整理		393,195,000 (　5,770,000　)	387,899,112 (　4,292,107　)
１　図書館資料の収集 中央･多摩図書館 ２　図書資料の整理 ３　修理保全 ４　蔵書目録	１　図　書 (1) 新刊和書 21,593冊 (2) 既刊書 1,281冊 (3) 洋書 5,128冊 (4) 中国語、韓国･朝鮮語図書 2,153冊 (5) 電子資料 0枚 (6) 児童書(和書) 3,463冊 (7) 青少年図書(和書) 1,550冊 ２　逐次刊行物 (1) 新 聞 179種 (2) 雑 誌 3,903種 (3) 年鑑･年報(和書) 1,317冊 (4) 年鑑･年報(洋書) 156冊		
Ⅳ　電算システムの運営		152,384,000	148,840,912
Ⅴ　図書館協議会		1,692,000 (　1,292,000　)	762,729 (　575,860　)
Ⅵ　業務委託		492,058,000 (　162,381,000　)	479,233,943 (　153,138,647　)
Ⅶ　タイムリーな企画展		4,934,000	2,081,350
計		1,756,330,000 (　187,854,000　)	1,628,841,085 (　171,112,430　)

（注）・予算額・決算額中の（　　）は、給与関係費（報酬等、共済費、旅費）で内数

Ⅳ 統計資料（令和3年3月31日現在）

1 所蔵状況

(1) 図書（年鑑・年報含む）

（冊）

区分			中央図書館	多摩図書館	合計
日本語資料	一般書		1,395,718	242,037	1,637,755
		総記	58,666	7,086	65,752
		哲学	75,933	7,176	83,109
		歴史	194,288	12,945	207,233
		社会科学	382,749	30,781	413,530
		自然科学	135,229	11,227	146,456
		技術	151,344	14,148	165,492
		産業	104,280	6,094	110,374
		芸術	134,382	14,348	148,730
		言語	28,315	4,055	32,370
		文学	130,532	134,177	264,709
	東京資料		254,913	4,771	259,684
	児童資料			183,363	183,363
	青少年図書			40,229	40,229
海外資料	洋書(特別文庫除く)		177,932	34,710	212,642
		一般書	175,984	13,686	189,670
		東京資料	1,948	15	1,963
		児童資料		21,008	21,008
		青少年図書		1	1
	中国語図書		73,443	5,010	78,453
		一般書	72,973	137	73,110
		東京資料	470	1	471
		児童資料		4,872	4,872
		青少年図書		0	0
	韓国・朝鮮語図書		24,613	2,336	26,949
		一般書	24,235	36	24,271
		東京資料	378	2	380
		児童資料		2,298	2,298
		青少年図書		0	0
特別文庫			243,572	0	243,572
山本有三文庫				13,560	13,560
計			2,170,191	526,016	2,696,207

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。
(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

（タイトル）

区分			中央図書館 新聞雑誌	中央図書館 東京資料	中央図書館 特別文庫(注1)	中央図書館 小計	多摩図書館 新聞雑誌	多摩図書館 児童青少年資料	多摩図書館 東京資料	多摩図書館 小計	合計
新聞	日本語	継続	183	225	0	408	44	9	32	85	493
		終刊・中断	250	391	45	686	88	21	0	109	795
		小計	433	616	45	1,094	132	30	32	194	1,288
	外国語	継続	27	3	0	30	3	0	0	3	33
		終刊・中断	46	19	0	65	2	1	0	3	68
		小計	73	22	0	95	5	1	0	6	101
	計		506	638	45	1,189	137	31	32	200	1,389
雑誌	日本語	継続	1,276	474	0	1,750	5,310	176	0	5,486	7,236
		終刊・中断	2,250	1,664	255	4,169	11,853	720	0	12,573	16,742
		小計	3,526	2,138	255	5,919	17,163	896	0	18,059	23,978
	外国語	継続	62	9	0	71	406	20	0	426	497
		終刊・中断	64	10	329	403	1,194	64	0	1,258	1,661
		小計	126	19	329	474	1,600	84	0	1,684	2,158
	計		3,652	2,157	584	6,393	18,763	980	0	19,743	26,136
マイクロフィルム(注2)			16 (16,315)	12 (1,625)	—	28 (17,940)	16 (10,735)	3 (13)	4 (152)	23 (10,900)	—

(注1)冊数。p.11の「特別文庫所蔵数243,572冊」の内数。
(注2)下段（ ）は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区分	映画フィルム 16㎜ (巻)	映画フィルム 8㎜ (巻)	ビデオテープ (巻)	LD・DVD (枚)	スライドフィルム (組)	レコード・CD ( )はCDで内数 (枚)	録音テープ (巻)	航空写真ネガフィルム (本)
中央図書館	1,914	135	6,298	2,410	264	5,774 (1,726)	1,138	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区分	録音資料 録音テープ	録音資料 デイジー	点字資料	点字雑誌・新聞	録音雑誌・新聞 録音テープ	録音雑誌・新聞 デイジー
中央図書館	3,623点 26,783巻	2,514点 2,540枚	720点 3,467冊	10種 4,003冊	7種 679点	13種 721枚
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,496点 1,496枚	411点 1,701冊	11種 604冊	19種 4,418点	7種 381点

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料（電子化に伴う複製物含む）

特別文庫室では、所蔵貴重資料（原資料）の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換（電子化）に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R（CD-R含む）
中央図書館	66,705点	9,375巻	6,444枚	38,636枚	5,164枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中央・多摩の両館で導入している。

電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品の翻訳、多読資料等の英語コンテンツを導入し、中央・多摩の両館で、専用端末により館内提供している。

（種）

区分	オンラインデータベース導入数
無料	33
有料	1
計	34

（タイトル）

区分	電子書籍タイトル数
日本語コンテンツ	1,600
英語コンテンツ	1,030
計	2,630

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア　新収資料

（冊）

区　　分	情報サービス資料 （中央・多摩図書館）
購　　入	36,641 (7,437)
受　　贈	7,203 (326)
そ　の　他 （自館製作目録、加除式資料等）	33 (0)
計	43,877 (7,763)

(注)年鑑年報を含む。　（　）内は外国語資料で内数。

イ　複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料（原資料）の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換（電子化）に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

（点）

特別文庫資料の 自館製作複製	1,140

(2) 逐次刊行物受入状況

（年鑑年報は冊数　新聞雑誌はタイトル数）

区　分	年鑑年報	新　聞		雑　誌	
		中　央	多　摩	中　央	多　摩
購　入	1,473 (156)	142 (30)	37 (2)	836 (61)	3,067 (356)
受　贈	2,743 (19)	244 (9)	49 (1)	1,120 (13)	3,056 (86)
計	4,216 (175)	386 (39)	86 (3)	1,956 (74)	6,123 (442)

(注)　(　)内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

（冊）

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	28,636	7,395	4,632	40,663

(4) 製本状況

（点）

館内製本	館外製本	重要文化財 修　　復	計
2,979	1,364	0	4,343

4　利用統計資料（令和２年度実績）

(1) 利用状況

ア　入館者数

（人）

区　分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日数	月　別入館者数	1　日平　均	開館日数	月　別入館者数	1 日平均	
令和2年　4月	0	0	－	0	0	－	0
5月	0	0	－	0	0	－	0
6月	25	2,805	112	25	1,161	46	3,966
7月	29	5,951	205	29	3,340	115	9,291
8月	29	7,254	250	29	4,183	144	11,437
9月	28	7,126	255	28	4,104	147	11,230
10月	29	9,697	334	29	4,733	163	14,430
11月	28	11,264	402	28	4,703	168	15,967
12月	25	11,093	444	25	4,188	168	15,281
令和3年　1月	0	0	－	0	0	－	0
2月	0	0	－	0	0	－	0
3月	0	0	－	0	0	－	0
計	193	55,190	286	193	26,412	137	81,602

（注）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための臨時休館中（4月1日～4月7日）の入館者（中央85人、多摩20人）は含めず。

イ 複写枚数

（枚）

区　分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日数	月　別複写枚数	1　日平　均	開館日数	月　別複写枚数	1 日平均	
令和2年　4月	0	2,481	－	0	152	－	2,633
5月	0	1,650	－	0	618	－	2,268
6月	25	62,147	2,486	25	12,453	498	74,600
7月	29	82,626	2,849	29	15,777	544	98,403
8月	29	89,172	3,075	29	21,915	756	111,087
9月	28	80,162	2,863	28	17,549	627	97,711
10月	29	97,873	3,375	29	20,319	701	118,192
11月	28	88,281	3,153	28	18,972	678	107,253
12月	25	94,248	3,770	25	17,429	697	111,677
令和3年　1月	0	1,112	－	0	526	－	1,638
2月	0	2,224	－	0	786	－	3,010
3月	0	2,410	－	0	419	－	2,829
計	193	604,386	3,132	193	126,915	658	731,301

（注）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための臨時休館中（4月1日～4月7日）の来館による複写枚数（中央2,513枚、多摩217枚）は含めず。１日平均の年間計には臨時休館中の郵送複写分を含める。

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、統合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

（件）

区　分	蔵書検索数	統合検索利用件数
令和2年　4月	502,946	125,781
5月	437,750	123,045
6月	690,346	226,666
7月	910,743	247,574
8月	795,079	234,026
9月	751,788	228,705

（件）

区　分	蔵書検索数	統合検索利用件数
令和2年　10月	1,945,106	237,887
11月	3,146,726	221,871
12月	1,562,815	221,888
令和3年　1月	803,543	224,667
2月	815,046	227,007
3月	878,918	230,397
計	13,240,806	2,549,514

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Ｅメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Ｅメールレファレンスは、登録利用者以外も利用することができる。）

（人）

区　分	各月末現在の登録利用者数
令和２年　4月	4,589
5月	4,766
6月	5,099
7月	5,482
8月	5,850
9月	6,169

（人）

区　分	各月末現在の登録利用者数
令和２年　10月	6,506
11月	6,797
12月	7,058
令和３年　1月	7,228
2月	7,402
3月	7,576

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】　　回答は当館ホームページに掲載。

・インフルエンザの流行による学級閉鎖（休業）が導入された経緯とその効果を知りたい。
・手塚治虫本人が行った講演が載っている資料はないか。
・渋谷駅のハチ公広場のレイアウトとハチ公の位置について、戦後から現在まで、どのように変化したのかを知りたい。
・関東大震災後及び太平洋戦争後に東京の飲食店数が急増したようだが、それを裏付ける資料はあるか。

ア　質問形態内訳

［都立図書館計］

（件）

区　分	中央図書館		多摩図書館		計
	総　数	1日平均	総　数	1日平均	
口　頭	9,204	48	3,463	18	12,667
電　話	21,020	109	7,430	38	28,450
ファクシミリ	11	0	0	0	11
文　書	1,443	7	492	3	1,935
Ｅ　メ　ー　ル	4,342	22	871	5	5,213
計	36,020	187	12,256	64	48,276

［中央図書館］

（件）

区　分	情報サービス課４担当	特別文庫室	視覚障害者サービス担当	計	開館日数	1日平均
口　頭	8,987	133	84	9,204	193	48
電　話	16,666	565	3,789	21,020	193	109
ファクシミリ	4	7	0	11	193	0
文　書	1,258	76	109	1,443	193	7
Ｅ　メ　ー　ル	4,170	141	31	4,342	193	22
計	31,085	922	4,013	36,020	193	187

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が4,926件ある。

［多摩図書館］

（件）

区　分	情報サービス担当	児童青少年資料担当	視覚障害者サービス担当	計	開館日数	1日平均
口　頭	2,802	646	15	3,463	193	18
電　話	6,975	408	47	7,430	193	38
ファクシミリ	0	0	―	0	193	0
文　書	416	76	―	492	193	3
Ｅ　メ　ー　ル	701	170	0	871	193	5
計	10,894	1,300	62	12,256	193	64

イ 協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区　分		ファクシミリ	Eメール	計
都内公立図書館	区立図書館	0	81	81
	多摩地区市町村立図書館	3	83	86
	島しょ図書館	0	1	1
	小計	3	165	168
その他		0	28	28
計		3	193	196

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区　分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内資料利用冊数

(冊)

中央図書館	
年間	172,234
1日平均	892

図書・新聞・雑誌の合計

(冊)

多　摩　図　書　館					
図　書			雑　誌		計
		うち、児童図書		うち、児童雑誌	
年間	15,377	(8,357)	66,639	(8,562)	82,016
1日平均	80	(43)	345	(44)	425

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中　央　図　書　館			
情報サービス課4担当	特別文庫室	視覚障害者サービス担当	計
3,514	114	71	3,699

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が　5,598件ある。

多摩図書館
632

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

(件)

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	1,996	124	2,120
都庁内貸出冊数	797	24	821
複　写　枚　数	7,672	686	8,358

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア　資料提供

開室日数（日）	閲覧者数（人）		閲覧数（冊）		複製関係						資料貸出		合計利用冊数	
					撮影		即日複写		フィルム貸出					
	人数	1日平均	冊数	1日平均	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	冊数	1日平均
177	238	1	1,401	8	56	249	61	293	9	16	4	28	1,987	11

イ　掲載及び復刻・翻刻

掲載		復刻・翻刻	
件数	冊数	件数	冊数
1,218	2,532	9	31

(8) 音声・映像資料利用状況

中央図書館では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、音声・映像コーナーで視聴できる。

利用者数（人）	利用点数（点）
93	165

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デイジー資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区分	登録者		対面音訳			テープ・デイジー資料					点訳			
							テープ資料		デイジー資料				貸出数	
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	作成数（巻）	貸出数（巻）	作成数（枚）	貸出数（枚）	受付数	作成数（冊）	点字（冊）	ＦＤ（枚）
中央図書館	279	80	171	193	460	26	0	323 (441)	26 (26)	5,415 (5,417)	3	3 (16)	94 (137)	23 (23)
多摩図書館	101	14	89	89	224	7	0	11 (71)	20 (20)	1,471 (1,471)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)

(注1)　デイジーとは、Digital Accessible Information System（デジタル録音図書）の略。
(注2)　貸出数の中には、借受・貸出分も含む。
(注3)　作成数の中には雑誌・新聞（テープ、デイジー及び点訳）は含まない。
(注4)　上段はタイトル数、下段は資料の巻（冊）数を表す。
(注5)　新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年2月29日～6月21日（多摩図書館は7月12日まで）及び令和2年12月28日～令和3年3月31日対面音訳サービスを休止。

(10) 協力貸出状況

ア　都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸し出している。

区分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合計
区立図書館	7,502	1,938	9,440
多摩地区市町村立図書館	46,744	2,975	49,719
島しょ図書館	420	0	420
計	54,666	4,913	59,579

イ　都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区分	都外貸出		都外借受	
	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	57	89	17	17
多摩図書館	10	13	7	7
計	67	102	24	24

(11) 多摩図書館　16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための来館サービス休止等により、令和２年４月８日～６月21日、12月28日～令和３年３月31日は貸出を実施せず。

区分				登録数	貸出	
					件数	点数
16ミリ映画フィルム	団体			25	71	298 本
	特別団体			10		
	うち、島しょ長期貸出		大島	―	12	120 本
			三宅		0	0 本
			八丈		0	0 本
			小笠原		0	0 本
			計	―	12	120 本
映写機貸出				―	13	13 台

(12) ホームページ利用状況

(件)

区分		トップページアクセス数
令和２年	4月	47,934
	5月	73,209
	6月	79,185
	7月	74,744
	8月	71,992
	9月	66,281
	10月	67,989
	11月	62,861
	12月	61,188
令和３年	1月	66,185
	2月	54,416
	3月	59,480
計		785,464

(13) 多摩図書館　セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員216名。約100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区分		全面使用	分割使用	
			セミナールーム１	セミナールーム２
令和２年	4月	0	0	0
	5月	0	0	0
	6月	0	0	0
	7月	6	4	3
	8月	3	0	2
	9月	11	2	1
	10月	10	5	5
	11月	13	5	6
	12月	3	6	3
令和３年	1月	3	0	0
	2月	0	0	0
	3月	0	0	0
計		49	22	20

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和２年６月15日から最大収容人数を３分の１に制限

Ⅴ　事業実績（令和２年度）

１　展示等の事業（展示・講演会等）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会等を実施した。

(1) 展示

展示内容等		期間	会場	来場者数
図書館外イベント				名
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施せず。		名
				名
中央図書館企画展示	パネル展示	11月6日～12月9日	中央図書館企画展示室	1,411 名
	「1964 to 2020 クイズでめぐる東京のまち　ネットde展示」	1月16日～	都立図書館HP上で公開	名
1階ホール展示	オリンピック・パラリンピックコーナー「公式アートポスター展示」	7月23日～11月4日	中央図書館 1階ホール展示コーナー＊	
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示「オリンピック・パラリンピックコーナー to 2020」	11月6日～4月24日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「日本の文化・産業・自然遺産」	6月22日～9月30日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸の湊・東京の港」【後期】	6月22日～9月30日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「着物を知る、着物を着こなす」	10月2日～12月27日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸・東京花巡り」	10月2日～12月27日		
	Books on Japanコーナー トピック展示「BENTO 弁当 べんとう」	3月6日～9月30日		
	Books on Japanコーナー トピック展示「浮世絵　The UKIYO-E」	10月2日～12月27日		
都市・東京情報コーナーミニ展示	「都心部に2つの新駅が開業」	7月6日～9月2日	中央図書館 都市・東京情報コーナー＊	
	「東京の歴史・地理を調べるには」	9月4日～11月4日		
	「東京の老舗・名店・おいしいお店を調べる」	11月6日～12月27日		
ビジネス情報トピック展示	「今、生き抜くビジネス」	7月10日～9月30日	中央図書館 社会・自然科学系資料・閲覧室＊	
	「オンラインビジネス」	10月20日～12月27日		
コロナ関連トピック展示	「Withコロナの時代を生きるために」　＊展示資料は随時入れ替え	6月22日～4月24日	中央図書館 ビジネス情報コーナー＊	
健康・医療情報ミニ展示	「ご存じですか？がん相談支援センター」	10月15日～4月24日	中央図書館 健康・医療情報コーナー＊	
人文科学系トピック展示	「決定！第163回 芥川賞・直木賞」	7月21日～9月2日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
	「ノーベル文学賞2020　ルイーズ・グリュック」	10月9日～12月2日		
人文科学系ミニ展示	「仏教美術」（ケース展示）	6月26日～9月2日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
	「ミケランジェロ」	9月4日～11月4日		
	「仏教美術」	11月6日～12月27日		
美術展関連展示	「宗教と芸術」	10月2日～12月27日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
東京マガジンバンクミニ展示	「東京学校支援機構TEPRO（ティープロ） 理事長坂東眞理子氏著書・雑誌記事」	通年	多摩図書館雑誌エリア＊	

展示内容等		期間	会場	来場者数
児童サービスミニ展示	「これならできる！自由研究」「家でもできる！自由研究」	8月1日～11月4日	多摩図書館児童エリア＊	
	「ハロウィンの本」	10月30日～11月4日		
	「「うまれる」の本」	11月6日～12月27日		
	「やっぱりおうちがいちばん!?」	11月6日～12月27日		
	「くしゃみ・はなみず・せき・ねつの本」	11月9日～12月27日		
青少年サービスミニ展示	「中高生のおすすめ本」	通年	多摩図書館青少年エリア＊	
	「正しく知ろう、ウイルス・感染症」	6月1日～12月27日		
	「甘いvs塩っぱい」	6月1日～9月30日		
	「高校生直木賞2020」	10月2日～12月27日		
スポット展示	「羅針盤」・「羅針盤Ⅱ」	通年	多摩図書館青少年エリア＊	
	「扉をあけて」・「扉をあけてⅡ」	通年		
	「TAMA selection」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「英語多読棚」	通年		
児童研究書ミニ展示	「TEPROサポーターバンク」	通年	児童研究書エリア＊	
	「こどもと本とゆっくり向き合う」	通年		
	「あの人を知るための扉」	通年		

注＊の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

新型コロナ感染症拡大防止のため、以下を除く講演会、イベント、図書館ツアー、映画会等は実施しなかった。

区分		日程	会場	参加者数
東京マガジンバンクカレッジ	連続ワークショップ「地域を見つめる、地域を伝える ～石川直樹の写真ワークショップ～」	9月27日	多摩図書館 セミナールーム	23 名
		11月15日		21 名
		11月23日		23 名
	大学ゼミ発表会「大学ゼミ成果発表会2021 ～雑誌と社会のかかわりを語り合おう～」	1月30日	Web会議ツールによる オンライン開催	62 名

２　区市町村立図書館職員等への研修等

(1)　区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア　目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ　実施形態

・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名			会　　場	回数	修了者数
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「美術情報」		中央図書館	1 回	31 名
		テーマ別研修「新聞・雑誌情報」			1 回	27 名
		テーマ別研修「法律情報」			1 回	27 名
障害者サービス研修	音訳者講習会	専門研修		中央図書館	1 回	44 名
	障害者サービス研修				1 回	55 名
講師派遣	対面朗読講習会（９月15日）			練馬区立光が丘図書館（1名派遣）	1 回	19 名
	資料保全（製本研修）（１月５日）			武蔵野市立中央図書館（1名派遣）	1 回	34 名
	レファレンス中級研修（美術情報）（１月28日）			世田谷区立中央図書館（2名派遣）	1 回	21 名
製本研修	資料保全（製本）研修			中央図書館	2 回	42 名
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会（11月12日）			多摩図書館	1 回	62 名
	障害者サービス事務担当者連絡会			中央図書館	1 回	53 名
	児童・青少年サービス担当者会（合同開催）　（開催中止）			多摩図書館	0 回	0 名
	東京都図書館研究交流会	講演会	実施せず		0 回	0 名
					0 回	0 名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第１回（８月11日）書面開催	中央図書館	1 回	61 名
			第２回（３月19日）書面開催		1 回	61 名
	協力事務担当者会	第１回	（開催中止）	多摩図書館	0 回	0 名
		第２回	（開催中止）	中央図書館	0 回	0 名

(2)　関係機関等への講師派遣

新型コロナ感染症拡大防止のため、実施しなかった。

3　学校教育活動への支援事業

(1)　目的

児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2)　事業

ア　学校レファレンス支援サービス

来館、電話、Ｅメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ｱ) レファレンス件数　　34件　（中央図書館 6件、多摩図書館 28件）
（授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等）

(ｲ) 子供の読書に関する相談　　38件
（子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等）

イ　職業インタビューの受入れ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、キャンセル又は延期となった。

受入校（学年 参加者数）	実施場所	校数	参加者数
3校から問合せ等があったが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセル又は延期となった。	中央図書館	0校	0名

ウ　職業体験・インターンシップ等の受入れ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、キャンセル又は延期となった。

受入校（学年 参加者数）	実施場所	校数	参加者数
3校から問合せ等があったが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセル又は延期となった。	中央図書館	0校	0名
2校から問合せ等があったが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセル又は延期となった。	多摩図書館	0校	0名

エ　校外学習の受入れ

新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模な校外学習の受入れができなかったため、中央図書館では、校外学習プログラムの動画教材を作成し、オンライン講座等により対応を行った。

	受入校（学年 参加者数）	実施場所	校数	参加者数
（高校）	都立小山台高等学校（1年 320名、オンライン講座へのリモート参加） 佼成学園女子高等学校（1年 17名）	中央図書館	2校	337名
5校から問合せ等があったが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセル又は延期となった。		多摩図書館	0校	0名

オ　出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

実施校等		主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
（中学校）	都立白鷗高等学校附属中学校	モバイル・ライブラリー（英語多読資料のセット貸出）		1校	－
（中高一貫教育校）	都立南多摩中等教育学校	モバイル・ライブラリー（英語多読資料のセット貸出）		1校	－
（高校）	都立上野高等学校、都立深沢高等学校、都立八王子北高等学校、都立足立新田高等学校、都立松原高等学校、都立三宅高等学校、都立調布北高等学校、都立羽村高等学校、都立国分寺高等学校、都立橘高等学校、都立第一商業高等学校、都立農業高等学校、都立久留米西高等学校、都立北園高等学校、都立府中東高等学校	モバイル・ライブラリー（英語多読資料のセット貸出）		15校	－
	都立多摩桜の丘学園、都立調布特別支援学校、都立八王子東特別支援学校、都立墨東特別支援学校、都立水元小合学園、都立武蔵台学園	学校図書館選書等相談会		6校	－
（特別支援学校）	9校から問合せ等があったが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセル又は延期となった。	出張おはなし会		0校	－
（高校）	1校から問合せ等があったが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセル又は延期となった。	読み聞かせ講座		0校	－

カ　啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布　51部

※配布した「学校支援ツール」の内容
「TAMA selection」「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ほん・本・ごほん」

キ　教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内　容	実施部署	参加者数
東京都教職員研修センター	専門性向上研修　読書活動（10月6日）	多摩図書館	110名

４　職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、都立図書館職員研修、製本研修は実施しなかった。

区分	研　　修　　名	会　　場	回数	修了者数
実務研修	転入職員等研修1	多摩図書館	1 回	9 名
	転入職員等研修2	中央図書館	1 回	7 名
	新任司書職員研修	中央図書館・多摩図書館	1 回	2 名
	会計年度任用職員研修	中央図書館	1 回	7 名

区分	研　　修　　名	主　　催	日数	受講者数
派遣研修	新任図書館長研修	文部科学省、筑波大学、国立教育政策研究所、(公社)日本図書館協会	4 日間	1 名
	図書館司書専門講座	文部科学省、国立教育政策研究所	5 日間	1 名
	レファレンス協同データベース事業フォーラム	国立国会図書館	1 日間	1 名
	児童文学連続講座	国立国会図書館国際子ども図書館	2 日間	1 名
	児童サービス研究交流会	国立国会図書館国際子ども図書館	1 日間	1 名
	読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修	文部科学省、公益財団法人日本図書館協会	3 日間	1 名
	令和 2年度　全国公共図書館研究集会（サービス部門総合・経営部門）	公益社団法人日本図書館協会 公共図書館部会、近畿公共図書館協議会、大阪公共図書館協会	2 日間	1 名
	基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編／情報セキュリティ対策実践シリーズ	株式会社富士通ラーニングメディア	2 日間	1 名
	体験！ディープラーニング	株式会社富士通ラーニングメディア	1 日間	1 名
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	2 日間	1 名

５　刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（令和２年度中に発行した刊行物）

名　　称		発行年月日	発行部数
【中央図書館】			
	事業概要　令和２年度版	令和2年7月	800部
	東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報　No.205～No.209	令和2年7月 ～令和3年3月	各300部
	視覚障害者サービス情報　No.65～No.67	令和2年6月 ～令和3年2月	各250部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎３階　都民情報ルーム等で販売）

名　　称	販売開始日	頒布価格	令和２年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイディアカード集　冊子版	平成26年6月5日	152円	64部
読み聞かせＡＢＣ 集団の子供たちへの読み聞かせに　改訂版	平成31年3月28日	152円	238部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料及び東京都行政資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見ることができるページ

６ 都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和2年2月～令和3年6月

令和2年 2月中旬	イベント開催の可否についての検討開始 2/21以降開催又は実施するイベント等（会議、施設見学等含む）を中止又は延期
2月28日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の臨時休館と限定的なサービスの提供について
2月29日～ 4月7日	**臨時休館開始。**閲覧室等の施設利用等、来館サービスのほとんどを停止 限定的に実施する来館サービスとして、事前予約制の複写サービス（1人1時間、1時間当たり中央図書館4名程度、多摩図書館2名程度まで）を実施 メール・電話でのレファレンスサービス、図書館間の協力貸出は通常どおり継続
3月上旬	学校休校が続く場合の子供の居場所づくり・学習支援への対応を検討
3月16日	HP内に「今こそできる！こんなこと～都立図書館 学習・読書応援ポータル」を開設
3月25日	知事緊急記者会見（感染爆発の重大局面、夜間・週末の外出自粛要請）を受け、事前予約制の複写サービスの時間を短縮（21時まで→17時まで、土日は中止）
3月26日	パンデミック（緊急事態宣言発令）を想定した「都立図書館BCP」の策定に着手
4月6日	都立図書館BCP策定
4月7日	7都府県に緊急事態宣言
4月8日～ 5月31日	「東京都緊急事態措置」（図書館は「基本的に休止を要請する施設」、職員の出勤は2割程度、8割は在宅勤務）を踏まえたBCPにより、予約制複写サービス、電話によるレファレンス、協力貸出等を休止。メールによるレファレンス、郵送複写サービスは縮小実施。ホームページ運用は継続実施。特別整理休館の中止。
4月26日～ 5月31日	多摩：駐車場閉鎖
5月26日	＜緊急事態宣言解除＞ 【プレス発表】東京都立図書館の段階的開館について（6月1日より再開）
5月27日	10時　予約受付開始（電話のみ）
6月1日	**第1段階開館スタート** 完全予約制（中央：2時間12人まで、多摩：1時間2人まで） 多摩：キィニョン（パン屋）再開（テイクアウトのみ　営業時間10時～16時　7月18日より11時～16時に変更）
6月12日	【プレス発表】東京都立図書館の段階的サービス拡充について（6月22日～）
6月15日	多摩：セミナールーム再開、以後、図書館の来館サービス休止期間中は利用休止
6月17日	10時　第2段階予約開始（Web、電話）（予約は原則1人週1回まで）
6月22日	**第2段階スタート** 予約制・当日枠あり（中央：3時間100人まで、多摩：2時間45人まで） 中央：対面音訳サービス再開（音訳者と利用者は別々の小部屋に入り、内線電話を使って音訳サービスを提供）
7月13日	多摩：対面音訳サービス再開（中央と同様の方法）
7月15日	事前予約枠に残がある場合、当日利用枠に振替える対応を開始
7月19日	事前予約を、1人週2回に拡大
7月27日	5階カフェテリア（有栖川食堂）再開（営業時間11時～14時）
8月3日	1階カフェ再開（営業時間10時～17時）
10月12日	**第3段階スタート** 予約制・当日枠あり（中央：3時間200人まで、多摩：3時間80人まで） 事前予約を、1人1日1回に拡大（毎日予約も可能）（電話予約は原則週2回まで） 中央：利用エリア拡大（1階　音声・映像コーナー、4・5階　閲覧室、5階　キッズルームをオープン） 　　対面音訳サービスの拡大（1回2時間・各回1名⇒1回3時間・各回2名） 　　当日枠は整理券を配布せず、先着順に入館。 多摩：こどものへやの電話予約開始 　　対面音訳サービスの拡大（1回2時間・各回1名⇒1回3時間・各回1名） 　　カフェスペース再開（11時～16時）、以後、キィニョン・カフェスペースともに来館サービス休止期間中は閉鎖

12月1日	**第4段階スタート**（利用方法の変更） 予約制・当日枠あり（中央：時間制限なし、在館400人まで、17:30以降は予約不要） （多摩：3時間80人まで） 中央：利用可能エリア＝5階交流ルームを除くすべてのエリア 多摩：座席指定制をやめ、全席自由に
12月9日	5階カフェテリア（有栖川食堂）営業時間延長（営業時間11時～17時）
12月22日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの一時休止 及び来館しなくても利用できるサービスの提供等について
12/28、 1/4～1/11	年末年始期間における更なる感染拡大防止のため、**来館サービスを一時休止** 非来館サービスは実施（電話受付は平日21:00、土日は17:30まで）
令和3年 1月7日	1都3県に緊急事態宣言（～2月7日）
1月8日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止期間の延長及び来館しなくても利用できるサービスの提供について
1月12日～ 2月7日	**来館サービス休止を延長** 非来館サービスは実施（電話受付は17:30まで）
2月3日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止期間の延長及び来館しなくても利用できるサービスの提供について
2月8日	10都府県に緊急事態宣言の延長（～3月7日）
2月8日～ 3月31日	**来館サービス休止を再延長** 非来館サービスの実施は変更なし
2月27日～ 3月31日	多摩：駐車場閉鎖
3月5日	首都圏1都3県の緊急事態宣言が再延長（～3月21日）
3月21日	緊急事態宣言解除
4月1日～ 4月24日	**来館サービス再開（第4段階ベース）** 予約制・当日枠あり（中央：時間制限なし、在館400人まで、平日の17:30以降は予約不要） （多摩：3時間80人まで） 多摩：キィニョン　営業時間変更（営業時間10時～16時）
4月12日	東京都にまん延防止等重点措置（23区と6市）　多摩図書館のある国分寺市は対象外
4月12日～ 4月24日	**中央図書館の開館時間の短縮**（平日は20時閉館。ただし、非来館サービスについては21時まで実施）
4月23日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止及び来館しなくても利用できるサービスの提供等について
4月25日	4都府県に緊急事態宣言（～5月11日）
4月25日～ 5月31日	**来館サービス休止** 非来館サービスは実施（電話受付は17:30まで） 多摩：駐車場閉鎖
5月12日	緊急事態宣言延長（～5月31日）
5月28日	【プレス発表】東京都立図書館の来館サービスの再開について
6月1日	緊急事態宣言再延長（～6月20日）
6月1日～	**来館サービス再開** 予約制・当日枠あり（中央：第3段階ベース 3時間250人まで、多摩：第4段階ベース 3時間80人まで） 開館時間短縮（中央・多摩：平日20時まで。土日祝17時まで） 中央：5階カフェテリア（有栖川食堂）　平日11時～14時のみ営業 多摩：セミナールーム利用時間短縮（9時～17時）
6月21日	中央:1階カフェ再開　平日10時～17時のみ営業

Ⅵ　所蔵コレクションの紹介

1　中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点（冊）を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書（イ～ケ)、③寄託・寄贈資料など（コ～セ）からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数（冊数）には複製資料を含まない。

ア　東京誌料　約43,500点（冊）

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長禄年代（1450年代）から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ　加賀文庫　約24,100点（冊）

加賀豊三郎氏（1872-1982）の旧蔵書で、和書、古文書、尺牘（せきとく）、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ　諸橋文庫　約20,000冊

文学博士諸橋轍次（もろはしてつじ）氏（1883-1982）旧蔵の和漢書。経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ　河田文庫　約1,900冊

元大蔵大臣（昭和15）河田烈（いさお）氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪斎（てきさい）から代々集積された書籍である。曽祖父に当たる佐藤一斎（いっさい）の「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ　市村文庫　約30,200冊

市村瓚（さん）次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究家にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ　井上文庫　約24,300冊

井上哲次郎（巽軒（そんけん））氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ　実藤文庫　約7,600冊

実藤恵秀（さねとうけいしゅう）氏（1896-1985）の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク　渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫　約8,500点

元軍人であり、人物研究家としても活躍した渡辺金造（刀水（とうすい））氏（1874-1965）が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ　特別買上文庫　諸家　約38,600点（冊）

戦時特別買上図書のうち、上記イ～ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書　言語・文学　約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫（安藤正次氏旧蔵）の落合直澄（なおずみ）旧蔵書、文学関係資料には池田文庫（池田亀鑑（きかん）氏旧蔵）の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫（蜂屋茂橘（はちやもきつ）氏旧蔵）の草双紙類600余点がある。

(イ) 国書　総記・その他　約10,000点（冊）

岡文庫(岡千仞[鹿門]氏旧蔵)の稿本類、反町文庫（反町茂雄氏旧蔵）の仏教関係古写本、中山文庫（中山久四郎氏旧蔵）の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫(宍戸昌氏旧蔵)の海雲楼博物雑纂ほかがある。

(ｳ) 漢籍　約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫（岩垂憲徳氏旧蔵）、蜂屋文庫、横山文庫（横山健堂氏旧蔵）にも伝本の少ない資料が多い。

(ｴ) 拓本　約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(ｵ) 書画　約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だってはいないが、中には希覯なものも含まれる。

コ　近藤記念海事財団文庫　約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤廉平氏(1848-1921)の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和 6 年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。

昭和 20 年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ　青淵論語文庫　約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一（青淵）氏（1840-1931）が創始した文庫で、大正 12 年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏（1896-1963）がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和 38 年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ　中山太郎収集詫状類　約 200 点

中山太氏(1876-1947)が収集した、正保 2（1645）年から大正 4（1915）年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス　木子文庫　約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975 年に木子清忠氏(1913-1995)から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ　新収資料　約 7,800 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。

▲ **伊豆七島圖繪**　1 巻　　壽山写　弘化 3(1846)年　近藤記念海事財団文庫　近 271

伊豆七島圖繪は、全長 9 メートル近くの巻物で、墨描に淡彩が施されている。作者は、渡辺崋山の弟子の一人、永村茜山（1820-1862）である（壽山は茜山に改号する前の号)。

茜山は、天保 9(1838)年、崋山の推薦を受けて代官羽倉簡堂に随行し、伊豆七島を巡視した。

伊豆七島圖繪には、随行の折に各地で行った写生をもとに制作された、各島風物の写生図 17 点が収められている。掲出の 2 図は巻頭の「大島波浮湊の圖」と巻末の「嶌々女風俗の圖」である。

＊近藤記念海事財団は大正 10(1921)年創立、今年 100 周年を迎える。文庫は創立 10 周年事業として設立された。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体で編集発行された郷土資料など図書約 257,700 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 640 種、雑誌は約 2,160 種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に、書誌索引類や言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。その一部は１階中央ホールの「Books on Japan」コーナーに置いている。

ア　洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 177,900 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く。）がある。

国際化に対応し、在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他国の観光、都市、環境等に関する資料、オリンピック関連資料を所蔵している。

イ　中国語、韓国・朝鮮語図書

(ｱ) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 73,400 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(ｲ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 24,600 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

２　多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、令和３年３月末現在約 8,200 誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することにより、時代の流れが見えるものであり、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 251,800 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 7,200 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊行の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬（ちりめん）のように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

Ⅶ　東京都立図書館協議会

１　東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第３条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

２　第 29 期東京都立図書館協議会について

第 29 期の図書館協議会は､「都立図書館ならではのサービスを考える　－保有する情報資源の一層の活用を目指して－」をテーマとして協議し、令和３年３月に提言をまとめた。

３　第 29 期東京都立図書館協議会の概要

第 29 期は、第 27 期提言「世界都市・東京を支える情報センターを目指して－2020 年とその先に向けた提言－」と第 28 期提言「これからの都立図書館に必要な利用環境について－多様な学びや活動を支える機能－」を踏まえた上で、情報通信技術を活用した、都立図書館ならではのサービスについて、短期的に実現できるものを中心に、優先順に７つの取組を提言した。
（以下、抜粋）

(1)チャットボット及びチャットによるレファレンスサービス
「チャットボット」とは、AI を用いてテキストや音声によって人と対話（チャット）するシステムである。このチャットボットを活用して都立図書館の運営、サービス、イベントの受付、資料の利用案内等に答える。さらにチャットレファレンスを組み合わせて、蔵書検索、比較的軽易なレファレンス質問に答える。

(2)二次元コード等を用いたサービス
「二次元コード」とは、縦横に情報をもつコードのことで、より多くの情報を保持することができる。また、「AR」は「拡張現実」と呼ばれるもので、現実世界にデジタル情報を重ねて表示することにより、現実の体験を拡張することができる。これらを活用し、リアルとバーチャルの世界をつなぐことで、図書館のサービス向上、資料の有効活用を図る。

(3)特別コレクションギャラリー
近年、貴重資料がデジタル化されインターネットにより公開されることで、簡単にアクセスできるようになってきた。個々の図書館・文書館・美術館などが所蔵するデジタルアーカイブを一括して検索できる「ジャパンサーチ」に参加し、「ギャラリー」に「特別コレクションの紹介」等を転載する。それによって、都立図書館の所蔵資料がより多くの人々に届くきっかけになる。

(4)デジタルブックシェルフ（電子書架）
図書館におけるブラウジングは、資料探索の代表的方法の一つである。ブラウジングでアクセスできる都立図書館の蔵書は閲覧室に並ぶ資料に限られ、全体の一部分にすぎない。膨大な数の資料から必要な資料を選択するために、館内にタッチパネル式デジタルサイネージ等を複数台設置し、書庫内資料を含む資料の背表紙を疑似的に表示する。合わせて、契約している電子書籍の閲覧や書庫内資料の出納申込みも可能にする。この仕組みは、スマートフォンによっても提供する。

(5)ディスカバリーサービス
都立図書館のＯＰＡＣとオンラインデータベース、オープンアクセス情報を一括して検索し、その結果を表示するディスカバリーサービスを提供する。館内の利用者はＯＰＡＣとオンラインデー

タベースを別々に検索する必要がなくなり、図書館の情報資源を最大限活用することにつながる。このサービスは非来館者に対しても提供する。

(6)電子書籍サービス

ライセンス契約による電子書籍提供に関しては、都立図書館内にとどめるのではなく、島しょをはじめとした都内自治体や都立高校等に提供することが考えられる。自館資料のデジタル化に関しては、都立図書館でしか提供できない資料（パブリック・ドメインの資料等）を優先的にデジタル化する、「TOKYO アーカイブ」の古典籍等を利用しやすいインターフェースで提供する、などが期待される。

(7)外国語資料総合データベース

都内公立図書館が所蔵する外国語資料に特化した総合目録データベースを構築し提供する。仕組みとしては、区市町村立図書館の ISBN データを定期的に取得し、都立図書館、国立国会図書館の書誌データとマッチングする方法などが考えられる。この仕組みを構築するためには、ISBN 取得に関し区市町村立図書館との調整が必要になる。また、システム開発が必要となり短期的に実現することは困難である。

4　第 29 期東京都立図書館協議会委員名簿（任期　令和元年７月１日～令和３年６月 30 日）

氏　　名（五十音順）	職　　名（令和３年３月現在）
伊　藤　　稔	公募委員
内　田　剛　史	株式会社ミュージアムメディア研究所代表取締役
江　草　由　佳	国立教育政策研究所研究企画開発部教育研究情報推進室統括研究官
岡　田　芳　典	青梅市教育委員会教育長
◎小　田　光　宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授
久　我　尚　子	株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部主任研究員
高　口　太　朗	LINE 株式会社シニアデータサイエンティスト
鳥屋尾　史　郎	東京都立桜修館中等教育学校統括校長
○松　本　直　樹	慶應義塾大学文学部人文社会学科図書館・情報学専攻准教授
結　城　智　里	一般財団法人機械振興協会経済研究所 BIC ライブラリ 情報創発部調査役
渡　部　理　枝	世田谷区教育委員会教育長

◎議長　○副議長

令和３年３月 15 日　議長より中央図書館長に提言を手交
（右から、小田議長、松川館長）

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期　　間	答申等年月	答　　申　　等
第１期	昭和35年２月 ～昭和37年１月	昭和37年２月	東京都の公共図書館総合計画 （答申）
第２期	昭和37年２月 ～昭和39年１月	昭和38年７月	東京都立日比谷図書館分館の建設について （意見具申）
第４期	昭和41年３月 ～昭和43年２月	昭和43年２月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 （答申）
第６期	昭和45年４月 ～昭和47年３月	昭和46年12月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 （答申）
第８期	昭和47年７月 ～昭和49年６月	昭和49年６月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスの あり方　（答申）
第11期	昭和55年９月 ～昭和57年９月	中間答申 昭和56年６月 最終答申 昭和57年５月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 （答申）
第15期	昭和63年10月 ～平成２年10月	中間答申 平成２年３月 最終答申 平成２年10月	新日比谷図書館の機能について （答申）
第16期	平成３年１月 ～平成５年１月	平成４年12月	都立図書館の資料の保存機能について （意見具申）
第17期	平成５年４月 ～平成７年４月	平成７年３月	都立中央図書館における当面の海外資料サービス のあり方について　（意見具申）
第18期	平成７年７月 ～平成９年７月	平成９年３月	２１世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－　（答申）
第19期	平成９年11月 ～平成11年10月	平成11年10月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－　（提言）
第20期	平成11年11月 ～平成13年10月	平成13年10月	高度情報化社会における都立図書館のサービスの あり方　－ＩＴを活用したサービスの革新－　（提言）
第21期	平成14年４月 ～平成16年３月	平成15年３月 平成16年２月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は 何をすべきか　（提言１） 都内公共図書館発展のための連携協力について（提言２）
第22期	平成16年10月 ～平成18年９月	平成18年３月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について （答申）
第23期	平成18年12月 ～平成20年11月	平成20年11月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について （提言）
第24期	平成21年５月 ～平成23年４月	平成23年３月	デジタル時代の都立図書館像 （提言）
第25期	平成23年５月 ～平成25年４月	平成25年３月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－　（提言）
第26期	平成25年５月 ～平成27年４月	平成27年３月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について （提言）
第27期	平成27年７月 ～平成29年６月	平成29年２月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020年とその先に向けた提言－　（提言）
第28期	平成29年７月 ～令和元年６月	平成31年３月	これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－　（提言）
第29期	令和元年７月 ～令和３年６月	令和３年３月	都立図書館ならではのサービスを考える －保有する情報資源の一層の活用を目指して－（提言）

Ⅷ　資料

１　東京都立図書館館則

（昭和62年3月20日　東京都教育委員会規則第11号）

最終改正　平成28年11月1日

第１章　総則

（目的）

第１条　この規則は、東京都立中央図書館（以下「中央図書館」という。）及び東京都立多摩図書館（以下「多摩図書館」という。）の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（図書館の運営）

第２条　図書館法（昭和25年法律第118号）の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等（以下「都内公立図書館等」という。）に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

２　中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第２章　中央図書館

（事業）

第３条　中央図書館は、次の事業を行う。

１　図書館資料の館内利用

２　利用者に対する情報サービス

３　都内公立図書館等に対する協力支援

４　島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス

５　図書資料（図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。）のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製

６　時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供

７　視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者（以下「視覚障害者等」という。）に対する資料の音訳及び録音

８　図書資料等の複写

９　図書館職員等に対する研修

10　海外の図書館等との交流

11　その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

（開館時間及び休館日）

第４条　中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第１のとおりとする。ただし、東京都教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

（入退館）

第５条　中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

２　中央図書館長（以下この章において「館長」という。）は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

（閲覧場所等）

第６条　中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

（視覚障害者サービス室）

第７条　視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

（利用者の行う複製）

第８条　館長は、東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。）の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

（協力支援に伴う貸出し）

第９条　都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第３章　多摩図書館

（事業）

第10条　多摩図書館は、次の事業を行う。

１　図書館資料の館内利用

２　主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての利用者に対する情報サービス

３　主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての都内公立図書館等に対する協力支援

４　時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供

５　視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音

６　図書資料等の複写

７　視聴覚資料の団体に対する館外貸出し

８　東京都立図書館条例（昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。）別表に掲げる施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の貸出し

９　その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業

（開館時間及び休館日）

第11条　多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

（入退館）

第12条　多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

２　多摩図書館長（以下この章において「館長」という。）は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

（閲覧場所等）

第13条　多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

２　視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

（視聴覚資料の館外貸出し）

第14条　多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

（未返還団体に対する処置）

第15条　館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

（使用の申請）

第16条　施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書（別記第１号様式。以下「使用申請書」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

２　前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前３月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

（使用の承認）

第17条　使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

２　教育委員会は、前条第１項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書（別記第２号様式。以下「使用承認書」という。）を交付するものとする。

３　前項に規定する使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

（使用時間等）

第18条　施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第２　１の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

２　施設等の使用ができない日（以下「使用停止日」という。）は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第２　２の項のとおりとする。

３　教育委員会は、事情により前２項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

（使用料の額）

第19条　条例第８条で定める額は、別表第３のとおりとする。

（使用料の後納の申請）

第20条　条例第８条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書（別記第３号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（使用料の減額又は免除）

第21条　条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

１　都内の区市町村教育委員会が使用するとき　５割

２　都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき　５割

３　官公署（教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。）が使用するとき　２割５分

４　前３号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき　教育委員会が定める割合

２　条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書施設等使用料減免申請書（別記第４号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（使用料の還付）

第22条　条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第４号又は第５号の規定により使用の承認を取り消し、使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかった場合とする。

２　条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書（別記第５号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（使用者の義務）

第23条　使用者は，全て館長の指示に従わなければならない。

第４章　補則

（委任）

第24条　この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附　則

（施行期日）

１　この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

（東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止）

２　東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則（昭和32年東京都教育委員会規則第27条）は、廃止する。

附　則（昭和63年教委規則第17条）

この規則は、昭和63年4月１日から施行する。

附　則（平成３年教委規則第18条）

この規則は、平成3年4月１日から施行する。

附　則（平成14年教委規則第27条）

この規則は、平成14年4月１日から施行する。

附　則（平成16年教委規則第24条）

この規則は、平成16年4月１日から施行する。

附　則（平成18年教委規則第34条）

この規則は、平成18年4月１日から施行する。

附　則（平成20年教委規則第75条）

この規則は、平成21年4月１日から施行する。

ただし、第６条の規定は、公布の日から施行する、

附　則（平成28年教委規則第46条）

この規則は、平成28年11月１日から施行する。

別表第１（第4条、第11条関係）

開館時間及び休館日＼館の名称		中央図書館及び多摩図書館
開館時間	月曜日から金曜日まで	午前10時から午後９時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第３条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、午前10時から午後５時30分まで
	土曜日及び日曜日	午前10時から午後５時30分まで
休館日	年始	１月１日から同月３日まで
	年末	12月29日から同月31日まで
	設備等の保守点検日	毎月１日以内
	館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
	特別整理期間	１年のうち12日以内

別表第２（第18条関係）

１　使用時間

区分	使用単位
月曜日から金曜日まで	午前、午後、夜間及び休日。ただし、その日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び日曜日	午前及び午後

備考　使用単位は、午前は午前９時から正午まで、午後は午後１時から午後５時まで、夜間は午後６時から午後９時まで、全日は午前９時から午後９時までとする。

２　使用停止日

区分	使用停止日
年始	１月１日から同月３日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	１年のうち１日

別表第３（第19条関係）

区分			使用単位		金額
施設	セミナールーム	分割しないで使用するとき。	午前		8,100円
			午後		10,800円
			夜間		8,100円
			全日		27,000円
		分割して使用するとき。	1	午前	4,200円
				午後	5,600円
				夜間	4,200円
				全日	14,200円
			2	午前	3,800円
				午後	5,100円
				夜間	3,800円
				全日	12,800円
	講師控室		1	午前	300円
				午後	400円
				夜間	300円
				全日	1,000円
			2	午前	300円
				午後	400円
				夜間	300円
				全日	1,000円
附帯設備	音響映像操作機器		一式１回		2,900円
	液晶モニター		一式１回		120円
	プロジェクター		一式１回		840円
	ワイヤレスマイクセット		一式１回		240円

（別記様式第１号から第５号までは、掲載省略。）

２　東京都立図書館沿革

明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41.11 東京市立日比谷図書館開館
大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19 館)
昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24.11 都立日比谷図書館再開
25.10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32.10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46.12「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47. 3 東京都立中央図書館建設工事竣工
10 東京都立図書館設置条例一部改正 (昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)
11「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画－1972－に組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
48.10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年４月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年６月 開館)
53. 7「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正 (昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)
62. 3 東京都立図書館設置条例改正 (名称変更：東京都立図書館条例 昭和 62 年４月 東京都立多摩図書館設立)
5 都立多摩図書館開館

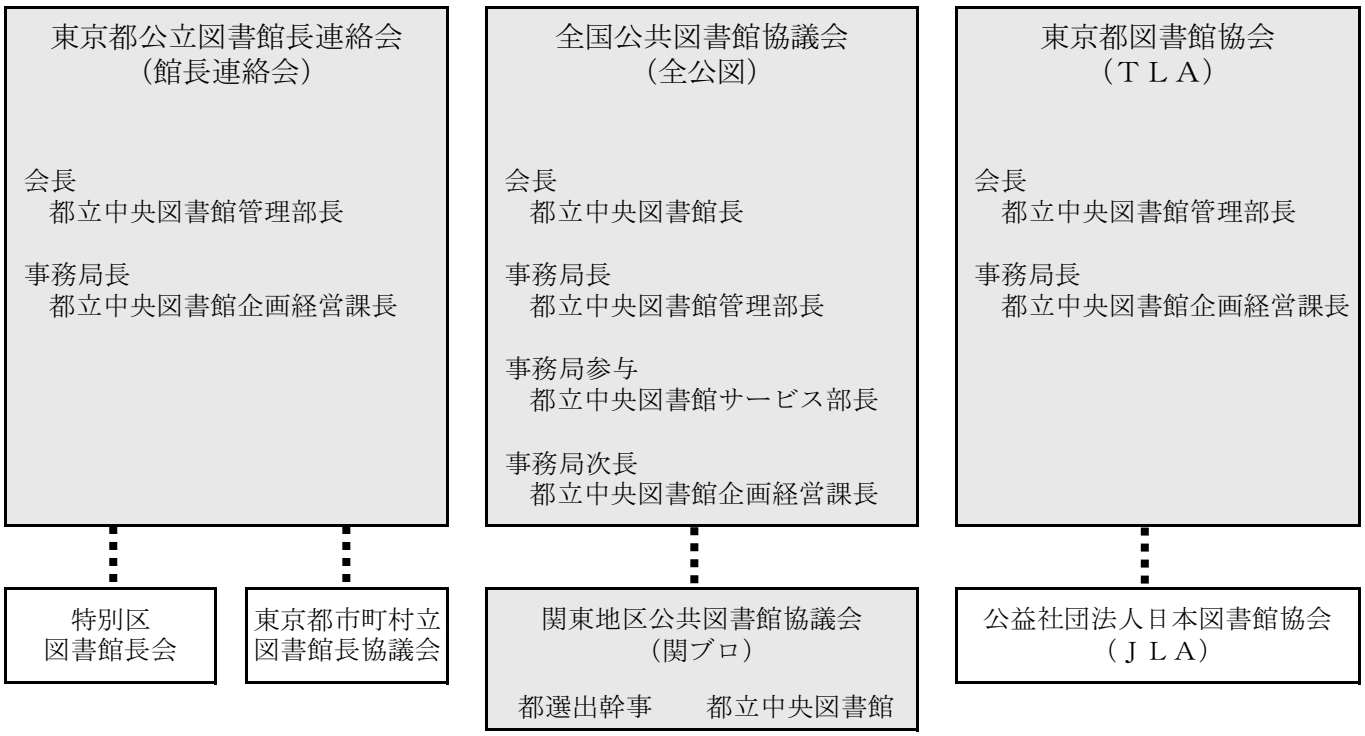
昭和63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動
10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動
平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動
2. 3「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)
10「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)
4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
12「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)
7. 3「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第17期東京都立図書館協議会意見書)
9. 3「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)
「21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」(第18期東京都立図書館協議会答申)
10. 3「東京都立図書館中期運営計画」策定(都立３館)
7 都立図書館処務規則全部改正
11. 10「児童・青少年に対して図書館は何ができるか？－社会問題への図書館の関わり方」(第19期東京都立図書館協議会提言)
11「資料保存計画」策定(東京都立図書館資料保存委員会)
東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
12. 2 都立図書館新電算システム稼動
都立図書館ホームページ開設
3「東京都立図書館情報サービス規程」制定
13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館(平成14年２月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)
10「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－ＩＴを活用したサービスの革新」(第20期東京都立図書館協議会提言)
11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
14. 1「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」(都立図書館あり方検討委員会報告)
3「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
4 都立中央・日比谷・多摩図書館の３館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
15. 3「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第21期東京都立図書館協議会提言１)
6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始(平成19年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)
16. 2「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第21期東京都立図書館協議会提言２)
4 都立中央･多摩図書館開館時間を延長
6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
17. 8「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)
18. 3「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第22期東京都立図書館協議会答申)
7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
7 都立中央図書館　新聞記事横断検索データベース(G-Searchサービス)の有償提供の試行開始
9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の８係を６係に組織改正
10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性に

ついて合意
平成 20.11 都立図書館創立 100 周年＜明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館＞
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館　都市･東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
12「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン　記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、３月 31 日まで開館し、４月１日から移管準備作業のため休館（７月１日移管）
4 都立中央図書館　複写受付時間の変更（午前 10 時から開始）
5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設　記念展示及び講演会等を実施
7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
9 都立多摩図書館　外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年１月１日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY 図書や点字図書の貸出しを開始
都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
3「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
11 東京都立図書館 Twitter を開始
12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
10 電子新聞（２タイトル）の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指して－より質の高い図書館サービスの追求－」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
27. 2 都立国際高等学校の国際バカロレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
3「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
4「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
「今後３か年の重点目標」を設定
7 都立中央図書館 カフェコーナーを１階にオープン
28. 2「都立図書館改善の方策」を策定
8 都立多摩図書館建設工事竣工
10「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
12 都立中央図書館 2020 年に向けた新展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）を開設
29. 1 都立多摩図書館移転開館（開館時間の延長、セミナールームの貸出開始）
2「世界都市・東京を支える情報センターを目指して-2020 年とその先に向けた提言-」（第 27 期東京都立図

書館協議会提言）
平成 29.10「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」試行的実施
11「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始
都立中央図書館 「キッズルーム（授乳室付き）」を開設
都立中央図書館 カザフスタン共和国との図書の国際交換に伴う贈呈式を実施
30. 1 「都立図書館実行プラン to 2020」策定
2 都立中央図書館 謎解きイベント「Live-Rally」を初開催
3 都立中央図書館 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」を開設
6 都立中央図書館５階の「音声映像資料室」を「音声・映像コーナー」にリニューアルして１階に移転
9 都立中央図書館 「交流ルーム」、「コミックコーナー」を開設
10 「Old meets New 東京 150 年」事業「東京 150 年祭」（浜離宮恩賜庭園）に出展
31. 2 平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書を発行
31. 3 「これからの都立図書館に必要な利用環境について」（第 28 期東京都立図書館協議会提言）
令和 元. 7 都立図書館ホームページに「平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書」と「平成 30 年度都立図書館利用実態・満足度調査」報告書を掲載
10 令和元年台風第 19 号の関東地方上陸により、10 月 11・12 日を臨時休館とする。
2. 2～3. 6 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策下における館運営については、p.26～27「都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯　令和２年２月～令和３年６月」を参照
3. 2 「都立図書館実行プラン 2021-2023　AI 時代の都立図書館へのファーストステップ」策定
3. 3 「都立図書館在り方検討委員会 最終報告～AI 時代の都立図書館像～」
3. 3 「都立図書館ならではのサービスを考える－保有する情報資源の一層の活用を目指して－」（第 29 期東京都立図書館協議会提言）

３ 図書館関係団体･組織一覧

（令和3年4月1日現在）



(1) 東京都公立図書館長連絡会（館長連絡会）

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱（17中図管企第74号）により、平成17年６月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会（全公図）

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年６月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会（ＴＬＡ）

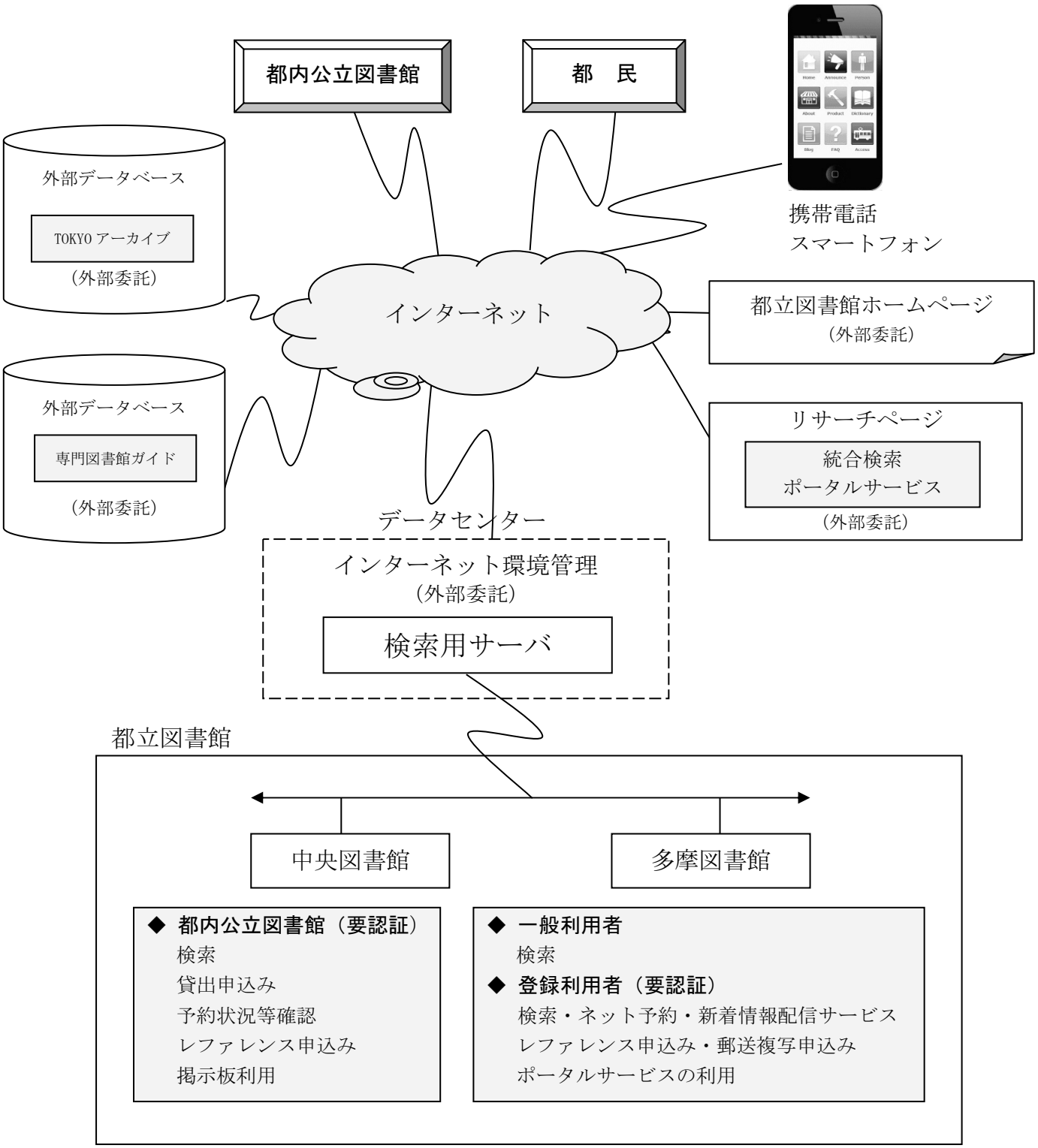
都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年７月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会（関ブロ）

関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年４月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

４　東京都立図書館ネットワーク概念図

第１期（METLICSⅠ）：　昭和 63 年 3 月～
第２期（METLICSⅡ）：　平成 12 年 2 月～　平成 17 年 6 月に機器更新
第３期（METLICSⅢ）：　平成 23 年 12 月～　平成 28 年 12 月に機器更新



Web 方式のシステム

- サーバ　　：　7 台
- クライアント：　231 台　　業 務 用：　138 台　（中央 105 台、多摩 33 台）
　　利用者用：　93 台　（中央　66 台、多摩 27 台）

5　東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク	東京都立図書館	中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク	Tokyo Metropolitan Central Library	中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク１	Tokyo Metropolitan Tama Library	多摩図書館が実施する事業で使用 （ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。）
多摩図書館 シンボルマーク２	東京都立多摩図書館	多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

6　ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/

携帯電話等からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
  https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/feature_phone/index.html
- スマートフォンからの蔵書検索
  https://catalog.library.metro.tokyo.lg.jp/winj/sp/top.do

東京都立図書館 Twitter　https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook　https://www.facebook.com/tmlibrary

メールマガジン「都立図書館通信」　ホームページからご登録ください。

7　フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。５階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、欅、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

▲中央図書館

１階

○　利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○　中央ホール

＊総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

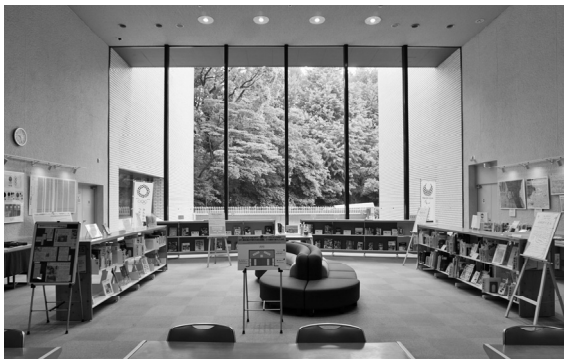
＊資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

＊複写受付カウンター

＊展示コーナー

東京 2020 大会に向けて情報発信を行う展示コーナーです。オリンピック・パラリンピックの歴史や過去の大会の記録、競技種目などを紹介する「オリンピック・パラリンピックコーナー」、江戸・東京の歴史や文化を紹介する「伝統・文化コーナー」、海外から見た日本を紹介する「Books on Japan（日本に関する洋書コーナー）」の３つで構成されています。



▲展示コーナー

○　重点的情報コーナー

＊ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

＊法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

＊健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。また、介護を始める時に読む本、介護技術の本、予防の本、制度・施設の本など約 170 冊を置く「介護応援コーナー」を設置しています。

＊闘病記文庫

闘病体験記録約 900 冊を備えています。

○　新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の３か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の雑誌約 20 誌も備えています。

過去の新聞（約 500 紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約 4,000 誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

▲都市・東京情報コーナー

○　都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。

また、「都市計画」「都市産業」など都市に関する資料を９つのテーマで配置するとともに、国内の政令指定都市や海外の主要都市に関する資料も集め、広く「都市」に関する情報を提供しています。開架

図書は約 39,000 冊です。

○　**音声・映像コーナー**

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、約 18,000 点を所蔵しています（４席）。

○　**カフェコーナー**

緑に囲まれながら、休息のひと時をお楽しみいただけます。

２階

○　**社会･自然科学系　資料･閲覧室**

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本産業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

３階

○　**人文科学系　資料･閲覧室**

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 21 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」では、県史・市町村史約３万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約１万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。

令和２年６月には「日本語学習コーナー」を開設し、約 400 冊の日本語学習用資料を言語別・テーマ別に展示しています。また、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約１万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○　**視覚障害者サービス室**

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は４室あり、録音図書（デイジー図書を含む。）6,137 点、点字図書 720 点、点字雑誌 10 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

４階

○　**閲覧室**

ほぼ全席がパソコン用の電源のある席で、公衆無線 LAN が利用できます。

○　**企画展示室**

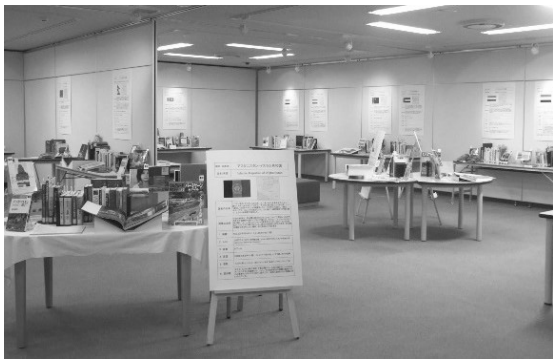
東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○　**グループ閲覧室**

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○　**多目的ホール**

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

５階

○　**閲覧室**

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○　**グリーンビューシート**

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です。（12 席）

○　特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約243,000点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています（p.28～29参照）。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYOアーカイブ）」で一部を公開しています。

○　調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席で無料 Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）が利用できます。また、豊富な資料を活用して、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます。(19席)

○　交流ルーム

図書館の資料を利用し、グループで自由に議論しながらの調査研究や異業種交流等の場として利用できる閲覧室です。机の配置なども自由に変更でき、学校活動におけるアクティブラーニングなどにも活用できます。(36席)

○　キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、キッズルームにはおすすめの絵本を、授乳室には授乳用の椅子やおむつ交換台を用意しています。

○　カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

＝各階＝

◆　蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、１階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆　新着図書コーナー

１階から３階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆　パソコン席

１階から４階の閲覧席、５階調査研究ルーム・交流ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆　無料Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）

１階から４階の閲覧室、５階カフェテリア・調査研究ルーム・交流ルームで無料Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）が利用できます。

◆　デジタルサイネージ

各階にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆　案内ホットライン

２階及び３階には、案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆　バリアフリー対応等

・１階受付で、車椅子の貸出をしています。
・１階新聞閲覧コーナー、２階資料・閲覧室、３階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
・１階と２階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、３階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
・１階と４階にAEDを設置しています。

〔建　物　概　要〕

昭和47年3月　竣工
昭和48年1月　新築、開館
平成7年7月～平成8年5月　施設・設備改修
平成20年5月～12月　施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート　地上5階、地下2階
敷地面積　9,157.21 ㎡
延べ床面積　延23,196.21 ㎡
収蔵可能冊数　約 208万冊（うち、開架35万冊）
閲　覧　席　916席（スツール席含め、1,062席）
敷地内全面禁煙

【各階の閲覧席数】

１階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	33
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
２階	資料・閲覧室	194
３階	資料・閲覧室	276
４階	閲覧室	160
	グループ閲覧室	24
５階	閲覧室	72
	グリーンビューシート	12
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	19
	交流ルーム	36

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成29年1月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。

▲多摩図書館

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却のほか、オンラインデータベース等の利用を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館の資料を使った展示やテーマごとの企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約1か月分の新聞40紙を配架しています。新聞を写真形式で保存したマイクロフィルムを見ることもできます。

▲雑誌エリア

○ 雑誌エリア

継続して収集している雑誌約6,000タイトルのうち、約1,500タイトルの最新約1年分を配架しています。

このうち、日本語雑誌は50のジャンル別に約1,100タイトル、外国語雑誌は12か国語約400タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約3,200冊の参考図書のほか、都政資料も備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約24,000冊揃えています。異文化交流や海外体験など、世界へ目を向けるきっかけになるような資料や、職業や進路の参考になる本や情報など、様々な角度から本を展示しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約8,900冊あります。

また、子供の読書活動推進や、学校での読書活動を支援するために作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。

▲青少年エリア

▲こどものへや

○　こどものへや

約 13,000 冊の絵本や物語、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供たちが気軽に質問や相談ができるようにしています。

○　えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、親子や友達同士でゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○　グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○　開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 32,000 冊があります。

○　対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面朗読及び録音資料の作成を行っています。

○　セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、約 200 名収容可能な有料貸出施設です。

○　カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆　パソコン席

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆　無料 Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO)

閲覧席、カフェスペースで利用できます。

◆　デジタルサイネージ

エントランスと閲覧室にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆　バリアフリー対応等

・総合案内で、車椅子の貸出をしています。
・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。
・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。
・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。
・入口に AED を設置しています。

〔建　物　概　要〕

平成 28 年 8 月	竣工
平成 29 年 1 月	移転開館
鉄筋鉄骨コンクリート	地上３階
敷 地 面 積	7,216.74 ㎡
延べ床面積	延　8,982 ㎡
収蔵可能冊数	約 285 万冊（うち、開架 10 万冊）
閲　覧　席	227 席
敷地内全面禁煙	

８　案　内　図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

○　開館時間

月～金曜日	午前10時～午後９時
土・日・祝・休日	午前10時～午後５時30分
ただし、	
・特別文庫室	午前10時～午後５時30分

○　休館日

・館内整理日	毎月第１木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第２木曜日）
・設備等の保守点検日	毎月１回
・特別整理期間	年間 12 日以内
・年末年始	12月29日から１月３日まで

中央図書館

〒106-8575　港区南麻布 5-7-13（有栖川宮記念公園内）
電話 03-3442-8451(代)

【交通】
・東京メトロ日比谷線　広尾駅　徒歩８分
・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線
麻布十番駅　徒歩 20 分
・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線
六本木駅　徒歩 20 分
・都バス　橋 86 系統
目黒駅前～新橋駅前・東京タワー
愛育クリニック前　徒歩２分
・港区コミュニティバス（ちぃばす）
麻布西ルート　97 愛育クリニック

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び 16 ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

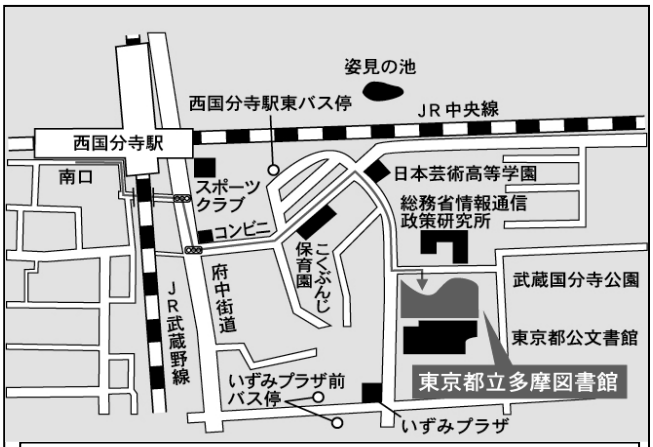
資料の個人館外貸出は行っていない。

○　開館時間

月～金曜日	午前10時～午後９時
土・日・祝・休日	午前10時～午後５時30分

○　休館日

・館内整理日	毎月第１木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第２木曜日）
・設備等の保守点検日	毎月１回
・特別整理期間	年間 12 日以内
・年末年始	12月29日～１月３日



多摩図書館

〒185-8520　国分寺市泉町 2-2-26
電話　042-359-4020

【交通】
・ＪＲ中央線・武蔵野線
西国分寺駅南口　徒歩７分
・京王バス
寺 85 系統（総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地）
いずみプラザ前　徒歩５分
・ぶんバス
万葉・けやきルート、北町ルート、
日吉町ルート　西国分寺駅東　徒歩４分

事　業　概　要　令和３年度版

登録番号（３）第１号
主要刊行物指定

令和３年７月２９日　発行
編集・発行　　東京都立中央図書館
〒106-8575　東京都港区南麻布五丁目７番１３号
電話　03-3442-8451(代)
印刷会社名　　有限会社太平印刷

リサイクル適性Ⓑ
この印刷物は、板紙へ
リサイクルできます。

東京都立図書館